

リリースノート—AJA Windows Plug-ins for Adobe v10.3.2

全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Windows Plug-ins for Adobe v10.3.2は、KONAシリーズとIo Expressへの新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ 推奨OS環境 : Windows 7 (64bit)
- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ KONAシリーズ、Io Express、v10.3.2以降のドライバ
- ・ Premiere Pro CS6, AfterEffects CS6, Photoshop CS6, Prelude CS6, Encore CS6

新機能

- ・ Adobe Premiere Pro 6.0.3 on Windows対応
- ・ Premiere ProによるDNxHD 145コーデックキャプチャ機能を追加(QuickTime .mov Wrapper)
- ・ 接続されたデッキのラスタサイズ、フレームレート、ドロップ/ノンドロップフレームステータスの自動検知機能を追加。この自動検出機能はAJAデバイスコントロールダイアログのデフォルト設定です。ユーザーはキャプチャ、プリント時にこれらの項目を設定する必要はありません。これらの設定は手動で設定することも可能です。

NOTE : Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態でデッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。

- ・ 1回のPremiere Proキャプチャセッション中に、同一デッキでDFとNDFテープの変更がされない限り、この問題はユーザーに影響しません。
- ・ 回避方法 : テープを変更したときに表示される"テープ名"ダイアログにおいて、"OK"ボタンをクリックする前に、新しいテープをスプールするようにしてください。
- ・ 修正方法 : キャプチャウィンドウを閉じて、再度開きます。

- ・ Photoshop、AfterEffectsのプラグインの変更。フレームレート、フレームバッファ、カラスペースの設定はAJAコントロールパネルで行います。
- ・ Premiere Proによる音声のみ、映像のみのキャプチャに対応
- ・ Premiere Proからのクローズドキャプション(CC)出力に対応。Premiere Proのクローズドキャプション機能の使用方法については、Adobe Premiere Proのマニュアルを参照してください。最高のCCのパフォーマンスを得るには、8-bitのYUV設定を使用します。
- ・ lo Expressを使用したAfterEffects CS6 RAMプレビューにおいて、1080i29.97モードの再生速度を劇的に向上。8-bit YUV出力モードでは6fps程度からリアルタイムに、10-bit YUV出力モードではほぼリアルタイムに向上。

修正点

- ・ Premiere Proにおいて、SDおよびDVの16x9シーケンスを正しく出力できない問題を修正
- ・ オーディオの出力マッピングをPremiere Proのオーディオマッピングで設定できるように修正
- ・ “Match Sequence”モードにおいて、AJAコントロールパネルのP/PsFフォーマット設定が優先されます。例えば、AJAコントロールパネルのデフォルトプログレッシブフォーマット設定は”use PsF format”となっています。Premiere Proでプログレッシブシーケンスを使用する場合、AJA Transmit Plug-insは自動的にフレームレートと解像度を一致させ、”Psf”モードでのSDI出力を行います。”P”モードの出力する場合は、AJAコントロールパネルで”Use P Formats”を選択します。
- ・ Premiere ProのExport to Tapeダイアログにデッキの状態を示すメッセージを追加
- ・ オーディオが出力されなくなる問題を修正
- ・ KONA 3、KONA3G、およびlo XTを使用してAfter EffectsとPhotoshop CS6でのビデオ+キー（V + K）出力機能を修正
- ・ AfterEffects CS6がクラッシュする問題を修正
- ・ 24fpsモードにおいて誤ったタイムコードをキャプチャする問題を修正
- ・ lo XTをPremiere Proで使用した場合、RGBキャプチャが出来ない問題を修正
- ・ LHiのアナログ入力を使用してアップコンバートキャプチャを行う際の不具合を修正
- ・ バッチキャプチャクリップが断続的に途切れる問題を修正
- ・ 8-bit RGBA QuickTimeファイルのキャプチャにおける問題を修正
- ・ ダウンコンバートキャプチャを行った際の不具合を修正
- ・ AfterEffects CS6からYUVプレビューモードで出力する際の不具合を修正
- ・ Premiere ProでJKLキーによるオペレートをしたとき、オーディオが出力されなくなる問題を修正
- ・ Premiere Proでテープへの書き出し時をキャンセルしたときの問題を修正
- ・ Premiere ProにおけるKi ProからのIn-to-outキャプチャ、バッチキャプチャ時の問題を修正
- ・ キャプチャ解像度がPremiere Proのシーケンス/タイムラインの解像度と一致していなければならない問題を修正。AJAのキャプチャプラグインはPremiere Proでシーケンスの解像度に関係なく、任意の解像度にロックします。
- ・ AJA デバイスコントロールパネルでタイムベースを変更するとキャプチャーに失敗する問題を修正

- ・ Panasonicのデッキを使用する際に起こる問題を修正
- ・ 2トラック以上のオーディオを用いてテープへの書き出し時を行う際の不具合を修正
- ・ ソースモニターで映像を再生しながらタイムラインをクリックすると Premiere Proがクラッシュする問題を修正
- ・ タイムライン再生中にCTIをドラッグするとオーディオの損失を引き起こす可能性がある問題を修正
- ・ lo XTの使用において、キャプチャーウィンドウのデスクトッププレビューの不具合を修正
- ・ AfterEffectsとPhotoshopからの出力における色問題を修正
- ・ デバイスコントロールのプリロールを3秒に変更
- ・ Photoshop ExportダイアログのCPU不可に関する問題を修正

既知の問題

- ・ システムのスリープは、KONAおよびloデバイスで使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・ KONAおよびloのCore Audioドライバは、Premiere Proで使用されていません。Core AudioドライバはPremiere Proのオーディオハードウェアのセレクトに表示されますが、Premiere Proのデフォルトオーディオデバイスに選択する必要があります。Core Audioドライバが選択されている場合、問題が発生する可能性があります。Premiere Proで音声出力の設定の詳細については、AJAのAdobeプラグインのマニュアルを参照してください。
- ・ lo Expressを、Bootcamp+Windowsを使用してMacBook Pro 8,2またはそれ以前のバージョンで使用することは推奨されていません。lo Expressは、Mac Pro、またはMacBook Pro8,3上で動作するBootcamp+Windowsで動作します。
- ・ クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。
- ・ VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が "OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・ 3秒以下のプリロールをキャプチャやプレイバックのために、任意のデッキでの使用を推奨しません
- ・ Premiere Proのモニター設定のデフォルトは"最初のフィールド"となっています。インターレースを正しく表示するには"両方のフィールド"を選択してください。
- ・ Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。